

すずがも通信 31

1935. 4.

万物節

山村暮鳥

なんでもかでも
いのちのあるものは残らずでろ
このしつとりとぬれた地べたの上にでてこい
ああいい季節だ
みんなでろ
そして太陽の下にあつまれ
卵をわって中からひよっ子がとびだすやうに
みんな飛びだせ



牛集



☆ 春の使者 つばめ ☆

東 葵子

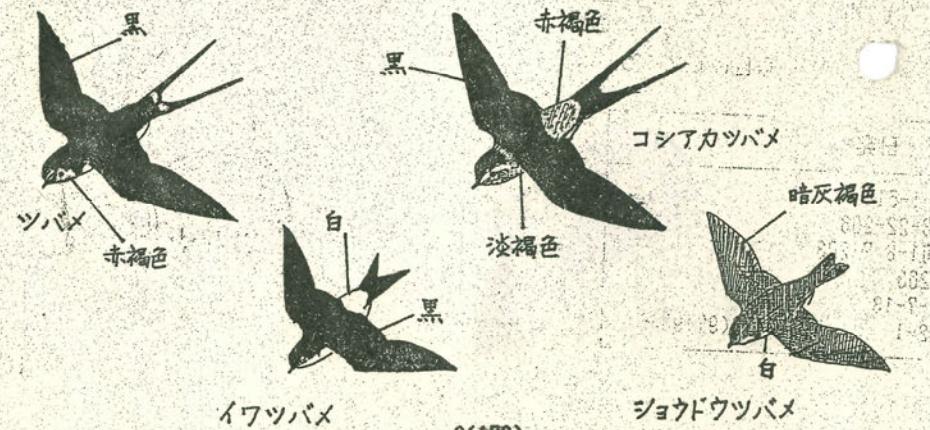
3月に入り離祭りも過ぎた頃になると空を眺める回数がしづかに多くなります。そして、捜し求める小さな黒い影がマンションの脇のあたりを弧を描いてよぎる姿を見つけた時!! オオイヌノフグリが咲き、ウグイスがさえずり、そして今、ツバメがきて確かな春の訪れを告げています。

ツバメは毎年、同じ家の同じ巣に帰ってくるといいます。残念ながら私はまだツバメの巣がある家に住んだことがありません。行徳でも旧道のほうへ行くと、ツバメの巣のある家が随分あります。そんな家に住んでいる人はさぞかしつばめの訪れが待ち遠しいでしょうね。一方、巣を持たない若夫婦は巣作りを始めます。材料は柔らかい泥と枯れ草。両方を口の中に入れて唾液でこねあげるのだそうです。舗装道路しかない都心部では材料集めもひと苦労でしょう。4月初めの雨上がりの日、江戸川の土手などを注意して捜せば、泥集めをしている若いツバメを見つけることができますよ。

関東地方ではツバメは2回、多いもので3回、卵を産むそうです。卵の数は3~7個。卵を暖めるのはだいたい雌の役

目で、雄は抱卵中の雌に餌を運んでやります。卵がかえるのは14~16日後。そうなると親鳥は大忙しです。朝から晩まで餌を運び、その回数は300回近くにもなるそうです。シーザー・シーザー鳴きながら我先にと首を伸ばして親から餌をもらおうとするヒナ達。下から巣を見上げていてもヒナの頭が巣のへりに見え隠れするのが見えます。空中生活者であるツバメの仲間は充分に体力をつけてから巣立ちできません。ヒナの身長には3週間もかかります。巣立った後も数日間は親から餌をもらうそうです。5月も末になるとついツバメをじっくり見ることもなくなってしまうのですが、今年こそは電線にとまつた尻尾の短い巣立ちビナが親から餌をもらっているところを見ようと思っています。

巣立った若鳥はほかの若鳥達と一緒にになり、昼は街中で過ごし、夜は広いアシ原で眠ります。保護区のアシ原もこうしたツバメ達の貴重なネグラになっていました。最初は一番巣の若鳥、続いで二番巣の若鳥、そして繁殖を終えた成鳥がそれに加わります。多いところでは、半径15~20キロもの広い範囲から2万羽ものツ



2(173)

バメが一ヵ所のネグラに集まるそうですが、保護区のネグラは小規模なもので数千羽位ではないかということです。数千羽づつどこからともなく集まってきてはアシ原の中にストンと落ちるように入るそうです。そういうばく薄もやのかかる夕暮れ時、ツバメが何羽か群れになって飛びかかっているのをよく見かけます。ふと気がつくとあたりがすっかり暗くなっています。ツバメがいつのまにかコウモリに姿を変えているのです。まるで魔法でもかけたみたいに。

8月も末になると「わたり」が始まり



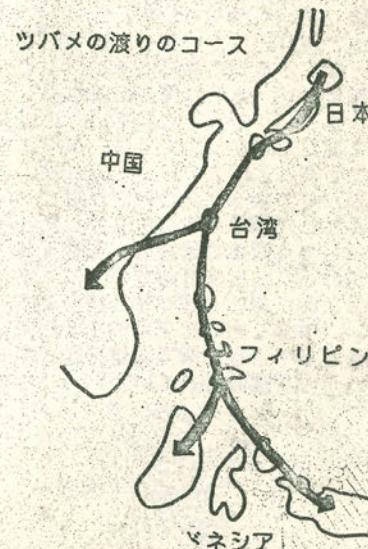
ます。まず体力のある成鳥、そして9月の末頃から若鳥が暖かい南の地方、台湾やフィリピンめざして旅立っていきます。もうこのころには親も子もありません。頼りになるのは自分の力だけ。この「わたり」で命を落とすものも少なくないそうです。

南からやってきて、巣を作り、ヒナを育て、そしてまた南へ旅立っていく。いつもは何気なく見すごしていることが多い日本でのツバメの生活、今年はじっくりと観察してみませんか。



☆ツバメが低く飛ぶと雨になる?

ツバメは飛びながらハエ・カ・ユスリカ・トンボなどの昆虫を捕食しています。そのため雨や曇りの日には地表付近を飛んでいる虫を追って低く飛びます。ツバメが地面すれすれに飛んでいたら、降水確率60%というところでしょうか。



(3)(174)

原木でイワツバメ繁殖!

中山辰夫

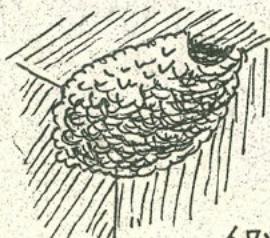
市川市原木・江戸川放水路の東側にほんの少しばかり残されたハス田と水田こんな所にも季節の移りに応じて思いもかけない鳥たちが訪れます。

イワツバメもそんな中のひとつです。'84年5月31日 いつもの様に双眼鏡を肩に歩いていると沼のところで空高く舞う3羽の小鳥が目にとまりました。大空をかなりのスピードでいったりきたりしていた鳥たちが急降下するとアッという間に水面に急接近しサッと触れて上昇する。何度も繰返す。その度にぎわいな波紋が水面に広がる。なんすごい水の飲方なんだろう。ただそのすばらしさに見どれるばかり。

その時は渡りの途中のイワツバメだと思い気をつけて行けよと見送りました。ところが4日後に同じ所で彼等とまた出合いました。今度は8羽にふえておりなんだか土を盛り上げた山の所へ降りている様子でした。

ぐるっと廻り込んでそつと近づいて見る……なんと本物の燕尾服でピシッと決めた紳士(?)たちが何やら鳴き交しながらクチバシで泥をこねていた。出しついた泥だんごをくわえては次々と池の向こう測へと消えていった。

2日がかりでやっと見つけたコロニーはなんとわが職場のすぐ近くでした。去年完成した4階建の建物の1階天井に取り付けられた蛍光灯の笠の上にくわえてきた泥だんごをせっせと積み上げている。半分くらい出来上った4個の巣を始めとして8ヶ所で雌雄共同のマイホーム造りが展開されていた。



イワツバメの巣

6月14日にはおわんのような形をした巣が4個出来上った。しかしその後も横の方へどんどん泥を付けたして巣を大きくする者が見られた。

次の日、コロニーを観察していると巣の造られていない蛍光灯の笠の上で休んでいた2羽のイワツバメに対して他の1羽がおそいかかった。くちばしで突き合いからまるようにして落下しあわや地面に激突かと思った瞬間にパッと離れるという激しい行動が何回も見られました。18日ツバメの巣を観察していたところ1羽のイワツバメがありました。すると2つの巣のツバメ2羽がいっせいに飛び出し激しい鳴き声をあげて追いはらいました。侵入者からヒナを護る親の愛情は本当にすばらしいと思いました。

ところが数日後の雨の日にハス田の上空でツバメとイワツバメが入り乱れて争うことなくエサを取り合う姿が見られました。

お互いのテリトリーを侵さなければ鳥たちは共存ができるようですね。

22日 8個の巣が完成しており既に抱卵しているようでした。他にも6個所で巣造り中でした。

7月18日 いつものように観察していると突然巣から何かが落ちてきた。急いで近づいて見ると赤裸で目もあいていないヒナが内臓が飛出した姿で横たわっていたのです。何という可憲なことが! 言葉もありませんでした。ここで働いている人が「卵やヒナがよく落ちてくる きっとツバメの巣だよ。」と話してくれました。何故この様な事が起るのか謎につつまれました。

その後観察がとだえ8月22日久しぶりに訪れたコロニーは既にもぬけのカラでした。何羽のイワツバメが無事に巣立つことが出来たのか不明です。

日々の生活にやすらぎとうるおいを与えてくれたあの鳥たちに今年もまた会えるでしょうか。

私たちとの共存共栄の道を歩むことが私たちに求められているのではないでしょか。宇宙船地球号の一員として。



小倉正一

る水神祠をマークに舞いおり 員数確認?の一旋回あってのち この冬リザーブした部落一隅へのねぐら入りとなる。……寒い日や雨模様のときは早めに帰つてくるし 矢張り風邪をひかないよう? 温度にも敏感に行動するようだ。

沼には日の出どきトリたちの見せる躍動美と共に暮れなずむ日没どき動から静へのひとこま ひとこまもまた素晴らしい。

その中でひっそりと忍ぶように峙に就くツバメたち ……彼等はこれから果してどこへ行くのだろう。

夏の賑やかなツバメたちとは違い 静かに黙々とときを過ごす このツバメたちの旅先に恙なかれと祈りたい。



編集部

見られその後多摩川・浅川沿いに巣が広がっています。最近では1983年より高速道路横羽線の橋の下に盛んに出入している(巣は未確認)他1984年荒川近くの足立区千住元町でも営巣例があるそうです。(川内博氏による)また千葉県内でも柏駅に営巣した記録があるということです。

ツバメの身近な天敵は意外なことにズメとか。親鳥のいないスキをねらって卵やヒナを放り出しツバメの巣を占領してしまうことがあるそうです。

ヒナが傷を負っていることから見ると原本のイワツバメのヒナ殺害犯人? もズメの可能性が高いでしょう。

すずがも通信

野鳥紹介録 No. 9

☆ツバメ

4月、鴨達が去り始めシギやチドリが訪れ、春がやってきます。ツバメはそんな春と一緒に南から帰ってきます。漢字では「燕」。巣を作る時、土を「ついぱむ」の「ついぱみ」から来ているそうです。英名は「Barn Swallow」。「Barn」は「納屋」のことです。「Swallow」はギリシャ語の「Saleuo」と同じで「あちこちへ飛んでいくように飛ぶ」と言う意味です。春の陽射しの中、見えない何かに打たれた様に急に身を翻しては飛びまわる、そんな姿から来ているのでしょうか。学名は「Hirundo rustica」。属名の「Hirundo」はラテン語の「hirundo」(ツバメ)が語源です。種小名の「rustica」はカシラダ力と同じで「田舎の」という意味です。ところで、皆さんは渋谷駅のツバメを御存じでしょうか。昨年、所用で渋谷へ出かけた帰路、ハチ公広場の所で駄の入り口の上にツバメの巣を見つけました。町中で見られるごく普通の鳥と言つてもこんな大都市の真中でツバメの巣を見つけるとは思いませんでした。あのツバメ夫婦は無事ヒナを育てられたでしょうか。そして、今年もまた、あの広場へ帰って来てくれるでしょうか。もし、ハチ公広場で巣作りをしているツバメを見つけましたら、ぜひ御一報下さい。

観察会前の水路に愛称を！！

浚渫工事第一期が終わりました。きれいな流れにかわるのはまだ先のことですが、ただの「水路」ではかわいそうよい名前をつけて下さい。

募集要領

★官製ハガキに水路の名前・氏名・住所・年令を書いて4月30日(消印有効)までに野鳥観察会内友の会、市川市福栄4-22-11 〒272-01まで。★優秀作品10点を選び、バードワーカー(5/10-16)期間中に観察会に掲示

荒井八太



☆イワツバメ

昨年、湾岸道路沿いの貨物会社のビルでイワツバメの繁殖が確認されました。市川市内では初めてではないかと言われています。漢字では「岩燕」。海岸の断崖、山の崖などに営巣するためこう呼ばれたのではないかでしょうか。英名は「House martin」。「Martin」はもとは仏語で、語源はラテン語の「Mars」(闘いの神、火星)で「小さなMars」と言う意味です。ローマでは人々がその年に行われるであろう戦いに想いを馳せる頃、イワツバメが渡ってくるので、こう呼ばれるそうです。学名は「Delichon urbica」。属名の「Delichon」はラテン語の「chelidon」(ツバメ)から来ています。種小名の「urbica」はラテン語の「urbicus」が語源で「都会の」と言う意味です。日本でイワツバメが建造物に営巣するようになったのは、おそらく洋風建築が入ってきてからではないでしょうか。それで「岩燕」と言う呼び方が定着し、ヨーロッパでは古くから建造物に営巣していたため「House . . .」あるいは「. . . urbica」と言う呼び方が定着したのではないでしょうか。日本人にとって最も身近な渡り鳥であるツバメたち。以前住んでいた東京の下町でも、その姿を見ることが少なくなりました。ツバメたちの住めない町とは人間にとて一体何なのでしょうか。

し来館者のみなさんに投票していただいて水路の名前を決めたいと思います。

★賞品

採用作品 「日本の野鳥」小学館
又は「野鳥観察日記」筑摩書房
又は「新浜だより」明光企画
御希望の本どれか一冊

次点 野鳥のマスコット
佳作 友の会すずがもステッカー

雑誌

ツルシギはどこへ

十数年前までの妙典には 3月下旬になると数百羽のツルシギがみられ 春のおどぞれを知らせてくれた。

今年はまだ2羽しか見られていない。

(3/10) たくさん見られたツルシギも 今や東京湾岸では 妙典保護区と 荒川放水路に少数観察されるだけになってしまった。 温田 湿地が急激に失なわれたためと思われる。

ツルシギは4月下旬になると 背や腹が真黒になり 脚と口ばしが赤く長いスマートな鳥です。 淡水湿地を好み 千潟に出ることはまれである。

淡水湿地や温田は 減反政策 都市化によって 住宅地などに変ってしまった。

行徳 浦安が開発される以前(20年以前)には千羽ものツルシギが見られたというが 彼等の子孫たちはどうなってしまったのか。 本当に数十羽になってしまったのだろうか?

世界中でも日本中でも 都市に近い湿地が開発され 住宅地や農地に変ってきていている。 日本の中でも東京に近い 浦安から船橋にかけての 湿地や温田はほとんど開発されてしまった。(同時に千潟も1万ha失なわれた。)

第1回 東京湾シンポジウム

東京湾は魚のもの鳥のもの市民のもの
そして未来のもの

田久保 晴孝

たくさんの方が住み 便利になり 豊かになったように見えるが 本当の意味での豊かさ(本来そこにある自然を享受するという)を失ってしまったのではないかでしょうか。 今一度 身のまわりの自然をみつめなおし 今ある自然ができるかぎり残していくと同時に 失なわれた 自然をとりもどしていくよう努力していきましょう。

行徳 いや東京湾岸にとって保護区(54ha)の重要度はますます高まっています。 保護区の中にもっとたくさん淡水池(湿地)を造成し 水鳥の真の保護区にしていきましょう。

また 妙典に残っている貴重な自然ができるだけ広く残るように運動していきましょう。(今年中に市街化区域に編入されて開発される見込みです)

いつまでもツルシギが渡ってくる行徳にしたいものです。

ただ単に鳥を見るところから一步ふみ出し 鳥や私たちの住む環境についても考えていきましょう。釣針や釣糸の犠牲になつている鳥もいます 釣をする人達にも呼びかけましょう。

テーブルディスカッション

コーディネーター 藤林 英雄 (TBSニュースキャスター)
パネラー 蓬尾 純子 (千葉県野鳥の会)
大野 和彦 (漁師)
中村 啓二 (ワイドサーフィン)
風呂田利夫 (ダイバー)
一柳 洋 (東京湾潜水活動写真協会)
国府田由隆 (千葉県ヨット連盟監督・顧問)

○東京湾市場開設

船橋直産のいわし・のり・あさり・などを激安でおわけいたします。

日時： 4月14日(日) 午前11時から

場所： 船橋市浜町公民館講堂 Tel 0474(34)1405

主催： 東京湾会議 〒273 船橋市湊町3-12-14 シーサイドヘルスクラブ内 Tel 0474(33)8630



鳥の国から 一観察会便り

オオワシ

3月4日の朝ふと外を見ると… 200mほど離れた岸辺に 黒い犬みたいのが でんとすわっています。 ちょうどシェパードぐらいの大きさ。 「たぶん野犬だよね。まさかワシじゃないよね。」などと言ひながら望遠鏡をのぞくとななんと！ 本当にワシだったのだ！ 目をいくらこすっても 眉つばをつけても どう見てもオオワシの若鳥。

首のぼしたアオサギぐらいの背だけで 横はばもたっぷり。 大あわてで証拠写真を撮り ざっとスケッチし じやんじやん電話し その間あわれな禽舎の鳥どもは餌もあたえれず ほったらかしのまま…

10時20分 飛びたった姿の大きかったこと。 はるかかなた 江戸川対岸にある清掃工場の赤白煙突の左手においてと見とどけて間もなく 息せききつて到着した桑名さゆみ女史。 寒さにもめげず（さすが若さ）自転車で妙典に出かけ 見つからずにあきらめて帰る直前 12時10分に清掃工場左手から飛びたったオオワシを発見 「ぱっちり見ちゃった！！」 そうです。

観察会では旧館時代に小見川で射たれたオオワシ若鳥が入院したことがありますが野生でははじめて。 日曜だったらもっと大勢の人に見せてあげられたのと 都合のよいためいき。

○2月18日以来 庭の焼却炉あたりにずっと モズのおすがいます。 いつ見てもいかにもひまそうで そばを通るたびに目があってしまうのだ！ 3月6日

蓮尾純子

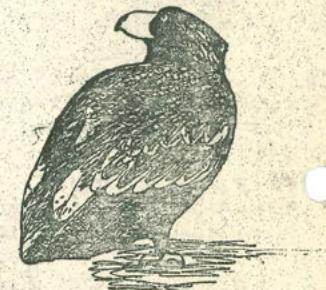


ごろから何となく用ありげに姿を消したり 動きまわったりしているけれど ピナがかえったのかな。 それにしてもこの2ヶ月位 めすの姿を見かけないのが気になるなあ。

○同じく2月18日から庭でフクロウが鳴くようになりました。 昨年から放し飼いで野生復帰をめざしている “ロクちゃん” 翼が折れて禽舎住いの “ジュクちゃん” です。 オーー ポロキテ ホーコーという おなじみの声の他に ホホホまたはワワワと聞こえる声で鳴きます。 遠く近くひびいてくるフクロウの声 最高！

2月に入つてから雨もようのはつたりしないお天気続き。 雨のたびに姿をしていたスズガモは 日曜・祝日になると入っていましたが 3月10日には5000羽そこそこ。 そろそろお別れのようです。

○3月4日 ゴイサギ90羽 同9日コサギ17羽。 分散していたサギ達が帰ってきたようです。 10日にはバンが交尾。 この会報が出るころには 桜が咲いているかな。（3月22日 多摩川の土手の桜が咲きだしていました 途）



新入会員

啼声

水面が見えないほどに…

中瀬 道雄

今日はじめて野鳥観察舎を見させていただきました。 とてもたくさんのスズガモに びっくりしましたが 又種類も多く 観察舎がとてもきれいでした。 スズガモのあの頭のたくさんあること。 水面が見えないほどに。

プロミナーをのぞいていると 頭がい

たくなりそうでした。 またいつか きたいとおもいます。

これからも自然や鳥を大切にしてよく観察してみたいと思います。

今日は大好きな鳥を一日見られました。 また ぼくが行きましたら よろしくおねがいします。

小倉 正一

半島や 伊豆の天城が出て来ます 手軽な文庫本（角川）も揃え 手折を見て楽しんでいます。



わたしの好きな一冊の本

井上 靖の「海峡」 時々 思いだしように書架から取り出し ひもといだ間に静かなひとときを味わう本のひとつです。

著者の「獵銃」「闘牛」に心酔したあと 20余年前に出会ったこの「海峡」は 渡り鳥の生態になにやら 諸々ゆき交う人生と相通するような交感を覚え そのゆたかな自然描写と共に いつしか野生の鳥に秘められた その生きざまに魅かれるようになりました。 なんなく 蒲谷 鶴彦さんが浮んで 来ますが… ここ新浜をはじめ 下北

行事案内

*定例新浜探鳥会（毎月第2日曜日） 4月14日、5月12日

集合： 東西線行徳駅前 午前10時

解散： 行徳野鳥観察舎 午後2時半頃

担当： 田久保晴孝、東 良一

持物： 昼食、飲み物、バス代（大人 190円、子供 100円）

1年で一番、心の弾む季節。 妙典や放水路で春の渡りのシギ・チドリを探しましょ。 午後はバスで観察舎へ。 歩きやすい服装・はきものでおいで下さい。

*定例園内観察会（毎月第1、3日曜日） 4月7日・21日、5月5日・19日

集合： 行徳野鳥観察舎前 午後1時半

解散： 同 上 午後4時頃

担当： 観察舎 蓮尾、協賛 友の会

一面、枯れ草色だった保護区にも春がきました。 力モの数が減って寂しくなりましたが旅の途中のシギやチドリが来ています。 歩きやすい服装・はきもので。

すずがも通信

☆真間川の桜並木満開キャンペーン 4月14日(日)

場所： 富貴島小学校裏手 正午 - 午後5時

主催： 真間川の桜並木を守る市民の会 平松 南

協賛 友の会(桑名さゆみ) 他

真間川改修工事で伐採された桜並木の復活が決まり、お花見の時期に恒例の満開キャンペーンが開かれます。パネル展示、石けんづくりの実演などもあり、廃油を持参すれば粉せっけんと交換してくれるそうです。友の会でも写真展示などで参加。自家製桜もちなども販売しますので、お花見がてらお出かけ下さい。(雨天中止)

* 塩浜堤防の釣り糸・ビニール回収大作戦 4月28日(日)

集合： 東西線行徳駅前 午後2時

解散： 行徳野鳥観察舎 午後4時頃

担当： 荒井俊光

持物： 軍手、タオル、バス代

釣り糸やビニールによる野鳥達の事故は想像よりも甚るかに多く、悲惨です。

1月13日には右足に異常がみられるハクセキレイが一羽いました。4kmほど歩きましたので、歩きやすく汚れてもよい服装、はきもので。

当日は観察舎1階展示室に被害を受けた鳥達の写真パネルを展示する予定です。

バード ウィーク 特別行事

☆園内観察会・映画会 11日(土) 午後-12日(日)

千葉県自然保護課主催で行われる予定。また当日、子供達に来館記念のバッチなどを配る予定もあるとのことです。(場合によっては大人にも……)

☆水路の愛称選び 10日(金)-16日(木)

本号(p6)で募集する水路の愛称を投票で決定。ふるって御参加下さい。

1階展示室に水路の写真パネルなども展示します。お楽しみに。

一事務局より

会費の納入をお忘れなく。一般会員 1000円、賛助会員 2000円以上、ジュニア会員(小中学生) 500円。観察舎で預かってもらいます。郵便振替 仙台 2-6129 行徳野鳥観察舎友の会。

一編集後記

2月の始めごろから いそがしく帰宅は連日10時すぎ 編集の仕事ができない… 金もうけのためとはいえ いやはやもう… 今回も馨子様の協力のおかげでようやく 途 ただもう感謝 感謝…

特集記事で四苦八苦。やっと解放されたと思ったら今度は編集。2号目にしてもう マンネリなどといわれませんように。(馨)

すずがも通信 No. 31 1985年4月1日発行

発行人 龜谷 栄

事務局 鈴木 有方

編集人 田久保晴孝

新妻 途夫

東 鑑子

行徳野鳥観察舎

福栄4-22-1 Tel 0473(97)9046